

第五十九回 帝國議會貴族院 抵當證券法案特別委員會議事速記錄第四號

昭和六年三月十九日(木曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(子爵伊東祐弘君) ソレデハ是ヨリ抵當證券法外九件ノ特別委員會ヲ開キマス、全體ニ付テマダ御質問ガ御有リニナラウカト思ヒマス、御質問ヲ願ヒマス

○名取忠愛君 分リマセヌ所ヲチヨット御伺ヒ致シマス、抵當證券ヲ發行イタシマシテ、ソレヲ此證券ノ讓渡ヲ致シマシテ、他へ入替ヲスル、詰リ移轉ヲ致シマス、造作ナク申セバ普通銀行ガ持ツ居ル抵當證券ヲ農工銀行ナリ、勸業銀行ナリヘ廻ハシマス時ニ、最初ノ登記設定ノ債權額デ通用イタセバ世話ノナイ話デアリマスガ、若シ最初ノ登記設定ノ債權額デハ困ル、時價モ下落シテ居ルカラ七掛、八掛ナラバ宜シイト云フヤウナ場合モアラウカト思ヒマス、サウ云フヤウナコトガ絶對ニ出來ナイコトニナルノデ、最初ノ登記ノ設定額デ通用イタスノデスカ、又ハ一万圓ノ抵當權設定ノ債權額ニ對シテ第二ノ銀行ガ八千圓ナラ引受ケテヤル、或ハ五千圓ナラ引受ケテヤルト云フヤウナコトガ實際ニ於テアリサウニ思ハレマスガ、若シサウ云フ場合ニ、一万圓

ノ抵當權設定ノ證券ヲ五千圓デ引受ケタト致シマスルト、其引受ケタ人ガ債務者ニ對スル權利ハ五千圓シカナイ譯デアリマス、後ノ五千圓ハドウ云フ所カラ債務者ニ向ッテ出來ルカト云フコトガ疑ガアリマス、一万圓ノ抵當權ヲ設定シテ、抵當證券ヲ發行ニナッテ居ルモノヲ、他ノ銀行ヘソレヲ移シタ場合ニ一万圓デ通用イタシテ居レバ問題ハナイ、サウ云フ場合ニハドウナルモノデアリマセウカ、今一つハサウ云フコトガ爲シ得ルトスレバ此抵當證券ヲ拵ヘル時ニ債權者、債務者ノ間ニ利率ノ約束モ登記ニナラ、今仰セノヤウナ一万圓ノモノヲ何千圓デ買フト云フヤウナコトハ無論アリ得ルコトデゴザイマスカラ、少シモ差支ヘナイ積リデ居リマス、其次ニハ例ヘバ第一ニ移ッタニ、今度ハ普通銀行カラ勸業銀行ニ讓受ケタ場合ニハ、其利率ハ安イ率デ賣ルダラウ、其利率ハ初メノ債務者ガ低利ノ利息ヲ受け得ルカドウカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマスガ、抵當證券ノ發行ハ、第一ノ債務者ノ地位ハ登記ヲシタ場合ト同ジヤウニ少シモ變リマセヌノデアリマスカラシテ、此ノ仰セノ第一間ノコトハ、最初ノ抵當證券ノ額面ヲ其次ヘ讓渡イタシマス場合、共

場合ニ其額面デ行ケバ問題ガナイ、其額面ヲ割引シテ移轉スルト云フ風ノコトガアルカドウカト云フ仰セノヤウニ伺ヒマシタ、サウ云フヤウナコトハ無論ゴザイマスカラシテ、勸業銀行、農工銀行ナドニ賣買ト云フコトヲ認メマシタ譯デゴザイマス、手形ノ賣買ハ額面ニ於キマシテハ同一ニ行カナイ場合ガ常ニアリ得ルコトデゴザイマスカラ、今仰セノヤウナ一万圓ノモノヲ何千圓デ買フト云フヤウナコトハ無論アリ得ルコトデゴザイマスカラ、少シモ差支ヘナイ積リデスガ、第六條ニ付テチヨット伺ヒタイ、催告ヲ爲スペキモノニ付テノ御考……本條ニ依ルト、「抵當證券設定者、第三取得者、順位ヲ拋棄シタル者」云々トアリマス、ココデ第三取得者ト云フノハ、是ハ發行當時ニレカラ債務者ハ宜シウゴザイマスガ、抵當權又ハ其ノ順位ノ讓渡人、是ハドウ云フヤウナコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(大久保貞次君) 經濟關係ノ御ウ云フ關係ニナルノデアリマセウカ、其邊ヲ詳細ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 是ハ矢張抵當證券發行前ニ抵當權ヲ讓受ケテ居ルト云フヤウナコトガ問題ガ起リマスカラ、ソレデ矢張異コトガアッタ場合ニ、其讓渡ガ無效ダトカ何トカ云フ問題ガ起リマスカラ、ソレデ矢張異議ヲ言ハセルヤウニシテアリマス、即チ抵當證券發行當時ニ既ニ讓渡ノ行ハレテ居ル關係ニナッテ居ル場合ガアリマスカラ……

○水上長次郎君 ソレハモウ登記シテ居ルノデアリマスカ、ソレデモ……

○政府委員(長島毅君) 其通リデアリマス
○水上長次郎君 サウスルト第七條ニ、即チ異議ヲ申立テル爲メノ理由、第七條ニ依ルト云フト、一カラ四マデノ號ニ當ル理由

ガナケレバ異議ハ申立テラレナイト云フコトニナッテ居リマスネ、此中ニハ債權者又ハ其順位ノ讓渡人ト云フヤウナモノノ異議ヲ申立テベキ理由ト云フモノヲ發見シマセヌ

デスガ、ソコハドウ云フノデスカ、第七條ノ異議ヲ申立テルニ付テノ理由ノ中ニハ、此六條ニ規定シテアル抵當權又ハ其ノ順位ノ讓渡人ト云フモノガ異議トシテ述ブル理由ハナイ譯デスネ、若シモ其抵當權又ハ其順位ノ讓渡人ガ、或ル理由ニ依ツテ異議ヲ申立テ得ルナラバ、其理由トシテ第七條ニ掲ガラレナケレバナラヌモノダラウト思ヒマスガ、其點ハ如何デスカ

○政府委員(長島毅君) 催告ニ記載シタ事實ト符合シナイコトニナレバ矢張異議ガ言ヘル譯デアリマス
○水上長次郎君 登記簿ニ記載シテアルノデアリマスカラ、登記簿ト違フト云フコトナラ兎モ角モ……

リマシテ事實ト合ヒマセヌケレバ矢張異議ガ言ヘルノデアリマス、即チ誤ツテ登記サ

レテ居ル場合ニハ異議ガ言ヘルコトニナッテ居リマス

○水上長次郎君 分リマシタ

○名取忠愛君 先程ノ御答ニ付キマシテハ了解イタシマシタガ、斯ウ云フ場合、例ヘバ最初ノ抵當證券ヲ所持シテ居ル人ガ、一万圓ノモノヲ農工銀行ナリ勸業銀行ニ移ス時ニ五千圓デナケレバハイケヌト云フコトデ、賣買手續ニ依ツテ今ノ御説明ノヤウニ致シマス、ソレヲ愈々執行ト云フ場合ニ債務者ノ、詰リ抵當物件ノ處分ヲ致シマシタ時

ニ債權額一万圓ダケノモノガ十分有り得ルトシマシタラ、其差額ハ最後ノ所持人ノ利益ニナルノデアリマセウ、元ノ第一抵當權ト心得マス

○委員長(子爵伊東祐弘君) モウ御質問ハノ損害ニナルデアリマセウ、其邊ハドウ云フ手續ニナルノデアリマスカ

○政府委員(大久保慎次君) 只今名取サン

ノ御問ニ對シテ御答申上ゲマス、例ヘバ資

金ノ必要ガ出マシテ、其一万圓ノモノヲ五

千圓ニ勸業銀行ニ出シタ、サウシテ其勸業銀行ガ一万圓ノモノヲ債務者カラシテ取ルコトガ出來ナカッタ、ソレデ競賣ノ實行ラシタ、サウシマシクナラバ其結果一万圓ト云

フモノヲ勸業銀行ガ取入レタ、其場合ニ勸業銀行ハ得ラシタノデハナイカト、斯ウ云フヤウナ御趣意ヲ以テ御尋ノコトニナッテ思ヒマス、是ハ賣買デゴザイマスカラシテ

損得ハモウ致シ方ガゴザイマセヌ、ソレデ買ヒマシタラバソレダケノ債權ヲ取ルト云フコトハ、是ガ即チ賣買ノ關係デアル、尤モ果シテソレガ五千圓デ賣ルカドウカ、是ハ疑問デアリマスケレドモ、今御立テニナッタヤウナ例デアリマスレバ、或ル品物ヲ買ヒマシテドウモソレガ後デモテ非常ニ宜ク

販レテ倍額ニ賣レタト、ソレデ買手ハ儲カタト云フ風ナモノト少シモ變リマセヌ、ソレガ爲ニ特ニ普通ノ手形ノ賣買、物品ノ賣買ト違ツタヤウナ手扱ハ出來ヌ順序ダラウ

ト心得マス

○委員長(子爵伊東祐弘君) モウ御質問ハ抵當證券ガ出マスルト、抵當券付キノ債權ガ抵當證券ニ化體サレマシテ、裏書ニ依ツテ轉々イタシマシテ、抵當權ノ移轉ニハ登記ヲ要セナイト云フ點ガ第一ノ特徵デアルト云フ御話デアリマス、此點ハ外國抵當證券ノ法律總テガ同ジヤウニ認メテ居ル所デアリ

マシテ、尤モ裏書ト云フコトハ必ズシモ同ジテハナイノデアリマスガ、畢竟スルニ抵當證券ノ受授轉々ニ依リマシテ、抵當權ガ

之ヲ一括シテ議題ニ致シマシテ討論ニ移リタイト思ヒマス

○松本泰治君 私ハ簡単ニ議題ニ上リマシタル法案ニ付テ賛成論ヲ述べテ見タイト考

ヘマス、只今議題ニ供サレマシタル法案ハ、貯蓄銀行法ヲ除キマシテハ總テ抵當證券法ヲ中心ト致シマシテ、之ニ關聯シテ居ルモノト考ヘマス、依ツテ私ガ抵當證券法ニ付テ賛成ヲ致シマスル趣旨ヲ述ベマシテ、他ノ法律ニ付テノコトハ之ヲ略シテ然ルベキカト考ヘマス、政府當局カラノ御説明ニ依リマスレバ、抵當證券法案ニ依ル所謂抵當證券ナルモノハ、大體申セバ抵當權ガ付イテ居リマス手形ノヤウナモノデアル、其特徵トモ言フベキ點ガ三ツアルト云フ御説明デアッタノデアリマス、其第一點ハ抵當證券ガ出マスルト、抵當券付キノ債權ガ抵當證券ニ化體サレマシテ、裏書ニ依ツテ轉々イタシマシテ、抵當權ノ移轉ニハ登記ヲ要セナイト云フ點ガ第一ノ特徵デアルト云フ御話デアリマス、此點ハ外國抵當證券ノ法律總テガ同ジヤウニ認メテ居ル所デアリ

○政府委員(長島毅君) 登記簿ト合ツテ居

法中改正法律案、時蓄銀行法中改正法律案、

法中改正法律案、國稅徵收

當然移轉サレマシテ、敢テ登記ヲ要サヌト

云フ點ハ外國ノ抵當證券ニ於テ皆認メラレ
テ居ル所デアリマシテ、是ガ即チ抵當證券
ノ一番ノ特徴デアラウト考ヘマス、此特徴
アルニ依リマシテ、抵當權ノ移轉ハ非常ニ
便利ニナラウト考ヘルノデアリマス、例ヘ
九州ノ果テトカ、或ハ北海道ノ果テニアル
地面ニ付テノ抵當權ト云フモノガ、東京ナ
リ大阪ナリニ於テ取引ヲサレマス場合ニ於
キマシテ、抵當權ノ移轉ニ付テ一々登記ヲ
要スルコトニナリマシテハ、到底繁雜デ其
取引ガ行ハレナイノデアリマス、最モ數百
万圓トカ云フ大キナモノデアレバ兎モ角、
僅カ何万圓デアルトカ、或ハ何千圓ナドト
云フヤウナ抵當權ノ場合ニ於キマシテ、大
阪ナリ東京ノ人ガ、態ミ九州ナリ北海道ノ
果テト云フヤウナ所マデ人ヲ派スルナリ、
或ハ自分が出マシテ登記ヲスル、或ハ取引
先ニ頼ムナドシマシテモ、之ヲ安全ニ其登
記ヲ致シマスト云フコトハ、餘程ムヅカシ
イノデ、非常ナ手數ト費用ガ掛カルノデア
リマス、斯ノ如キ費用ト手數トヲ省略イタ
シマシテ容易ニ抵當權ノ移轉ガサレルト云
フコトハ、其抵當證券ノ最大特徴デアリマ
シテ、此法案ニ於キマシテハ、裏書キニ依ツ
テ抵當證券ヲ受授スルニ依リマシテ、抵當

ズルト云フコトニナルノデアリマス、是ハ
抵當證券ヲ認メル以上、當然認メラレナケ
レバナラナイ點デアリマスト同時ニ、此點
ヲ此法案ニ於テ認メテ居リマスクトハ至當
デアルコトト考へマス、第二ノ特徴トシテ
御説明ヲ得マシタ所ハ、抵當證券ノ發行前
ニ於キマシテ、先づ異議ヲ徵シマシテ、其
異議ノ申立ガナイ、或ハ申出ガアリマシテ
モ理由ガナイト云フコトニナリマシテ、初
メテ證券ヲ發行スルト云フコトデアリマス
此點ハ全然外國法ニハ其例ヲ見ナイヤウニ
考ヘマスルガ、御承知ノ如ク我法制ニ於キ
マシテハ、登記ノ公信力ヲ認メテ居ラナイ
ノデアリマスカラ、ドウシテ斯ノ如キ制度
ヲ設ケマシテ、證券ノ發行前ニ於テ先づ關
係者カラ異議ヲ問ヒマシテ、其異議ヲ申出
ナカッタ者ハ證券ノ善意ノ所持人ニ對シテ
ヲコトニ致シマズルコトニ依リマシ
テ、抵當證券ニ化體サレテ居リマスル權利
ガ非常ナ確實ナモノトナリマシテ、抗辯ノ
附イテ居ラヌ所謂稍不要因的ノ權利ト云フ
ヤウナ形ニナリマシテ、或ハ證券的ノ權利
ト云フモノニナリマシテ、大イニ強力デア
ル、證券ノ記載ノミニ信賴シテ、其證券ヲ

ス、ソレデ我ガ法制ノ如ク登記ニ付テ公信
力ヲ認メテ居リマセヌ以上、此異議ノ申出
ノ制度ハドウシテモ之ヲ採ルベキモノト考
ヘルノデアリマス、此制度ニ依リマシテ登
記ニ公信力ガナイト云フコトノ缺點ハ、抵
當證券ノ關係ニ於テハ略ミ補ハレルト思ヒ
マス、而シテ此結果トシマシテ、通常ノ抵
當權ノ場合ニ於キマシテハ、登記ニ公信力
ナキ結果トシマシテ危險ガ多イノデアリマ
スルカラ、一旦此抵當證券ニ致シテ置キマ
スルト其危險ガナクナルノデアリマスルカラ
、私ノ考デハ或ル場合ニ於キマシテハ、
抵當證券ヲ敢テ融通スルト云フ考ガナイ場
合ニ於キマシテモ、尙此抵當證券ノ發行ヲ
求メマシテ、其權利ヲ確實ニスルト云フコ
トモ出テ來ハシナイカト考ヘルノデアリマ
ス、若シ斯ノ如キ場合ガ出來テ參ルト致シ
マスレバ、ソレハ此抵當證券法ノ豫期シテ
居ツタトコロノモノデハナインデアリマス
ルガ、副產物トシテハ極ハメテ結構ナル結果
デハナカラウカト考ヘルノデアリマス、第
三ノ特徴トシテ説明セラレテアルコトハ、
此抵當證券ヲ裏書ニ依リマシテ授受イタシ
マス際ニ、裏書人ガ償還義務ヲ負フ所謂擔
保責任ヲ生ズルノデアルト云フ點デアリマ
ス、此點モ亦全然外國法ニ其例ノナイ新シ

イ考デアリマス、是ハ非常ニ私ハ宜イコト
デハナカラウカ、此結果トシマシテ登記ノ
公信力ノナイト云フコトノ缺點ヲ更ニ補ヒ
得ルノデアリマス、抵當證券ノ取得者ハ裏
書人ノ信用ニ依賴シマシテ、之ニ依ツテ裏書
人ガ確カナル、例ヘバ勸業銀行ト云フヤウ
ナモノデアリマスルトシマスレバ、安心シ
テ抵當證券ヲ取ルコトガ出來ルノデアリマ
ス、ソレデ此抵當券其他ニ色ミノ缺點ガア
リマシタリ或ハ抵當物ガナクナルニ致シマ
シテモ又債務者ガ全然無資力ニナリマシテ
モ、其裏書人ノ責任ニ依賴シテ抵當證券ヲ
取ルコトガ出來ルノデアリマス、故ニ此點
ニ於テ抵當證券ノ融通ト云フコトガ非常ニ
増大サレテ居リマスル、尙單ニ此法律的ニ
裏書人ガ擔保責任ヲ負フト云フコトダケノ
利益ニ止マリマセヌ、斯ノ如キ信賴スペキ
信用ノアルモノハ裏書ヲ致シマスル以上、
其裏書ヲシタ人ハ必ズヤ重大ナル責任ヲ
有シテ居ルノデアルカラ、十分ナル調査ヲ遂
ゲタノデアラウト云フコトモ考ヘ得ルノデ
アリマス、之ニ依ツテノ安心モ出來ヤウト思
フノデアリマス、例ヘバ勸業銀行ガ第一次
ノ裏書ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、其勸業銀行ハ専門的ノ智識ヲ以
テ相當ノ調査ヲ遂ゲテ居ルニ違ヒナイカ

ラ、單ニ勸業銀行自體ノ人的信用ニ依頼シ得ベキノミナラズ其抵當物ノ價格其他ニ付テモ確實ナルコトヲ信ジ得ルト云フコトニナラウト思フノデアリマス、斯ノ如クニシテ此裏書人ノ責任ト云フ制度ヲ認メタナラバ、少ナクトモ登記ニ公信力ノナイ缺點ハ之ニ依ッテ十分ニ補ハレルノデアリマシテ、非常ニ良イ考テアッタコトデハナイカト思ヒマス、而シテ裏書人ニ常ニ責任ガアルト致シマスレバ、或ル場合ニ於テハ此抵當證券ヲ取リマシタモノガ、更ニ他人ニ譲リ渡スニ當テドウモ責任ガアッテハ困ルト云フコトモ生シ得ヤセヌカト考ヘラレマスルガ、此場合ニ付キ

マシテハ所謂無擔保裏書ニ關シマスル手形ノ規定ガ準用ニ確カナッテ居シタ記憶イタシマスルノデ、若シ例ヘバ既ニ勸業銀行ノ裏書ガアル抵當證券ヲ私ガ取得シマス、更ニ之ヲ他人ニ譲リ渡スニ當テ、私ハ裏書人トシテノ責任ヲ負フト云フ煩雜ダケハ少クトモ免レタイト考ヘマスレバ無擔保ノ裏書ヲスレバ宜シイ、之ニ依リマシテ私ハ擔保責任ハナクナリマス、必ズ其抵當證券ハ第一次ノ裏書人タル勸業銀行ノ裏書ガアリマスレバモウ十分ナ信用ガアルノデ、間ニ立テ居ル私ノヤウナモノガ無擔保裏

書ニ依ッテ、何等其抵當證券ノ値打ヲ減損サレルト云フコトハナイダラウト思ヒマス、サウ云フヤウナコトデ此償還關係ヲ五月蠅イト思フ人ガアルトシマスレバ、無擔保裏書ノ方法モアラウト思フノデアリマス、仍テ考ヘテ見マスレバ、此裏書人ノ擔保責任ニ關スル制度ハ何人ニモ不便ヲ與ヘズシテ、此證券ノ流通ニハ非常ニ貢獻ヲスル所ガアラウト思フノデアリマス、サウ云フ此マア三ツノ大キナ特徴ガアルノデアリマシテ、此制度ニ依リマシテ不動産ノ金融ハ非常ニ容易ニサレテ來ルコトトナラウ、從テ、其金融ノ利息ト云フモノモ、此制度ガ行ハレテ參リマスルニ從ヒマシテ必ズヤ下ガルベキモノデアラウ、只今ハ抵當權ヲ設定シマシテ、債權ヲ取得イタシマシテ、之ヲ他ニ移轉スルコトハ甚ダ困難デアル爲ニ、詰リ所謂再割引ト云フヤウナコトガ出来ナイ、殆ド事實上出來ナイト云フコトガアルガ爲ニ此利率ガ非常ニ一般ニハ高イノデアリマス、ガ幸ニ此制度ガ出來マシタナラバ抵當權ヲ設定セシメテ債權ヲ取得スル、抵當證券ヲ發行セシメマスレバ之ヲ容易ニ再割引ガ出來ルコトニナルノデアリマス、スカラ、從テ其最初ノ融通ノ場合ノ利率率ニ付キモノト思フノデアリマス、

要スルニ此抵當證券ノ制度ニ依リマシテ不動產ノ融通ガ容易ニナリ、其利率ガ低下シ、從テ不動產ノ値打ガ上テ來ヤウト思フノデアリマス、只今申述ベマシタヤウニ三ツノ特徴中第一ノ異議ノコト、第三ノ裏書人ノ擔保責任ノコトハ全然外國ノ立法例ニモノイ獨創的ノ考案カト思ヒマスルガ、之ニ依リマシテ抵當證券ノ機能ハ十分ニ發揮サレマシテ、只今述べマシタヤウナ不動產ニ對シテ非常ニ利益ヲ與ヘルコトニナリ得ベキモノト思フノデアリマス、是ハ勿論稍、機上ノ學者のノ想像論デアリマスルガ、若シ此制度ニ於キマシテ細末ノ點ニ實際ニ適合シナイヤウナ所ガアリマシタナラバ、之ヲ改メテ參ルト云フ途モアラウト考ヘマスルカラ、只今申シマシタ想像シテ居リマスル市地方裁判所所在地及借地法施行地ニ止マラズ、地方農村及ビ小都會ニ於テ最モ切實ナルモノアリ、仍テ政府ニ於テハ成ルベク速カニ本法ノ施行ヲ全國へ及ボサレムコトヲ望ム「先般來質疑應答ノ際ニモ政府委員ノ御答ニハ追テ一般ニ及ボスト云フ御考ガアルヤウニ承リ及ンデ居ル譯デアリマス、デアリマスルカラ、斯様ナ希望ヲ附帯イタシマセヌデモ宜シイ譯デアリマスルケレドモ、事ヲ入念ニ致シテ置キタイト存ジマスルノデ、甚ダ愚念ノヤウデアリマスル

リマス、ソレガ低下サレテ來ルト云フコトニナリマスレバ、即チ不動產ノ融通力ハ強クナルノデアリマシテ、不動產ノ價格ハ必テ改正ハ妥當ナリト考ヘマスルノデ是ニ贊成スルニ躊躇シナイ次第デアリマス

○子爵前田利定君

只今松本君カラ抵當證

券法外八案ニ對シテ御贊成ノ御意見ガゴザイマシタ、特ニ抵當證券法案ニ付キマシテハ縷々御贊成ノ理由ヲ御述ベニナリマシタ、本員ニ於キマシテモ全然此松本君ノ御贊成ノ意思ト變リマセヌ、即チ本案外八案ハ縷々御贊成ノ理由ヲ御述ベニナリマシタ、本員ニ於キマシテモ全然此松本君ノ御

贊成ノ意思ト變リマセヌ、即チ本案外八案ハ縷々御贊成ノ理由ヲ御述ベニナリマシ

タ、本員ニ於キマシテモ全然此松本君ノ御

ケレドモ、此希望決議ヲ附帶イタシタイト思フノデアリマス、第一ハ「不動産所有者ノ利益ヲ保護スル爲ニハ其者ニ於テモ抵當證券ノ交付ヲ申請スルコト得ルノ途ヲ講スルヲ適當ナリト思考ス、仍テ民法改正ノ際此點ニ留意シ、右ノ趣旨ニ適應スル立法ニ付キ考慮ヲ拂ハレムコトヲ望ム」此第二ノ希望ハ今右カラ左ニ直グニ左様ニ御願ヲ致シタイト云フ希望デハナイノデゴザイマス、事ハ民法ノ根本的改正ニ觸レル問題デアリマスルカラ、此前ニ申上ゲタヤウナ希望トハ同様ニ取扱フコトガ出來マセヌ次第デアラウト考ヘマスカラ、軽テ民法ノ改正ヲ企圖セラレル場合ニ於テハ此點ニ御留意下サイマシテ、不動産所有者ノ利益ヲ保護スルヤウナ意味合ニ於キマシテ、ソレ等ノモノニモ抵當證券ノ交付ヲ申請スルヤウナコトガ出來ルヤウナ立法上ノ途ヲ請ジテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ヲ附帶イタシマシテ、私ハ贊成イタシタイト存ジマス、付キマシテ、此二ヶ條ノ附帶希望決議ニ付キマシテモ格別ノ御異存ガアランヤイマセヌ限リニ於キマシテハ何卒此委員會ニ於カレマシテモツ御認メヲ願ヒマシテ、而シテ追々テ本議場ニ於キマシテ特別委員長ノ御報告ノゴザイマス際ニ、委員會ノ希望トシテ述べテ戴

クヤウニ願ヒタイト思フノデアリマス、此述ベニナリマシタル希望條件ト申シマスカ、或ハ希望決議ト申シマスカ、是ニ贊成スルノデアリマス、第一ノ點ハ成ベク早く全国ニ此施行ヲ致シタイト云フコトデアリマシテ、只今私縷々述ベマシタヤウニ、此抵當證券ノ法制ハ、決シテ只今ノ一時的ノ財界ノ救濟ノ意味デハナクシテ、永久ニ瓦ツテ不動産金融ヲ圓滑ニスル爲ニ最モ宜イ制度ト考ヘルノデアリマスカラ、其意味カラ申シマスレバ成ルベク速ニ全國ニ施行サレルト云フコトガ望マシイコト、考ヘマス、大イニ之ニ贊成シタイノデアリマス、第二ノ點ニ付キマシテハ是ハ實ハ相當ムヅカシイ考デアリマス、即チ獨逸法ノ如ク抵當權ト其債權トノ間ノ必シモ常ニ關聯ガアルモノデナイト云フコトニ致サヌト、所有者ノ方カラ申請ヲスルコトハムヅカシイノデハナカラウカト考ヘマス、併シ此様ナ意味デ即チ抵當權ト其擔保ヲシテ居リマスル債權トノ間ニ必シモ關聯ノ無イコトハ、既ニ日本ニ於キマシテモ察抵當ニ於テハ此制度ガアルト言フテモ宜シイノデアリマス、ソレカラ考ヘマスレバ敢テ非常ナ根本的ノ抵當權

ニ關スル思想ヲ變更シマセヌデモ、民法改正ノ際ニ相當ノ考ヲシマシタナラバ、只今申シタヤウナ程度ノコトハ認メ得ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、而シテ是ハ抵當權ノ作用ヲ大キク致シマシテ、以テ不動產ノ融通力ヲ増スコトノ爲ニハ甚ダ宜シイ制度ト考ヘルノデアリマスルカラ、民法改正ノ際ニハ斯ウ云フヤウナ意味デ考慮スルコトハ必要カト思ヒマス、尙ホ茲ニ加ヘテ一言シテ置キタイコトハ、本會議ニ於キマシテ登記ノ公信力ヲ認メルヤウナ制度ヲ早クシタラドウカト云フヤウナ意味ニ聞エタ御質疑モアッタヤウニ考ヘマスガ、此點ニ付テハ實ハ私ハ甚ダムヅカシイコト、考ヘテ居リマス、登記ノ公信力ヲ認メント欲スレバ、先づ總テノ不動產ニ付テ職權的ニ全部之ヲ登記シナケレバナラヌト云フコトニナリマス、即チ保存ノ登記ヲ申請スルトカ云フコトデナク、進ンデ職權的ニ全部ノ不動產ヲ登記シナケレバナラヌ、調査ヲシテ登記ヲスル、斯ウ云フコトハ非常ニムヅカシイコトデアリマス、ノミナラズ、モットムヅカシイ難關ハ、私ノ考デハ日本ノ法律ノヤウニ建物ヲ以テ獨立ノ不動產ト認メテトトハ絶對ニ兩立シナイノデアル、若シ登

記ノ公信力ヲ認メント欲スレバ建物ノ獨立不動產ト云フコトヲヤメマシテ、外國法ニ於ケルガ如キ建物ヲ以テ土地又ハ地上權ノ部分ト云フヤウナコトニシテシマウト云フコトニシマセヌケレバ、登記ノ公信力ト云フモノヲ認メルコトハ出來マイ、此澤山ノ建物一ツ一ツニ付テ大丈夫ナモノヲ獨立シテ拘ヘルト云フコトハ、日本ノヤウナ建物ノ性質カラ考ヘルト絕對ニ私ハ出來ヌコトデアル、故ニ建物ニ關スル登記ノ制度ヲ全然變ヘマシテ、隨々テ只今ノ借地法トカ何トカ云フヤウナモノヲ全然變ヘマシテ、建物ヲ所有スル者ハ土地所有者デナケレバ地上權者デアルト云フコトニ致シマシテ、之ヲ一緒ニ登記スルト云フヤウナコトニ制度ガ變ラテ來ヌ以上ハ登記ノ公信力ヲ認メルコトハ絶對ニ出來ナイ、斯ノ如キ變革ヲ來シマスト云フコトハ、私ハドウモ少クトモ數十年ヲ要サナケレバ出來ナイコトデアル、是ヲ僅ニ一年二年ノ間ニシテシマッテ、然ル後抵當證券ヲヤッタラ宜カラウナドト云フ御說ニ對シマシテハ、甚ダシク空中樓閣的ノ考ヘデアルト實ハ考ヘタノデアリマス、デ附加ヘテ此事ヲ申述ベマシテ、唯今ノ希望ニナフテ居リマスル要件ノ如キハ左様ニ登記公信力ト直接ニ關係ハナイノデアリマ

ス、斯ウ云々意味ノ改正ト云フコトハ民法改正ノ際ニ考慮サレマシタナラバ相當ノ難關ハアルカモ知レマセヌガ、左マデノコトマデナク出來ルモノデアリマシテ、又サウ變テ行クコトガ然ルベキコト、思フノデアリマスカラ、是ニ贊成シタイト考ヘルノデアリマス

○菅原通敬君 私モ抵當證券外八件ニ付テ政府原案ニ贊成イタシマス、ソレカラ前田子爵ヨリノ御提議ノ二ツノ希望條件ノ第一ノ方ニ付テハ無論私モ贊成イタシマス、第二ノ條件ニ付テ考ヘマスト云フト、稍々民法ノ根本ニモ觸レルヤウナ問題ノヤウデアリマスガ、ソレニ關スル自分ノ贊否ヲ定メル爲ニ政府ノ是ニ對スル御意見ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○政府委員(長島毅君) 政府トシテハ此二點トモ異存ハゴザイマセヌ

○菅原通敬君 政府ニシテ御異存ガナイト云フコトデアレバ、前田子爵ノ二ツノ條件ニ私ハ同意イタシマス

○名取忠愛君 私モ前田子爵ノ御意見ニ絶對贊成ヲ表スルモノデアリマス、從^シテ原案ニ同意ヲ表シマス

○水上長次郎君 本案ノ提出ノ理由ニアリマシタ通り、我方國現下ノ經濟及ビ金融ニ

鑑ミテ、不動產ノ融通ヲ圓滿ナラシムル爲ニ

證券ヲ發行スルノ必要ヲ感ズルト云フコトハ書イテアリマスガ、此點ニ付テハ私共至極ク同感デアリマシテ、寔ニ結構ナコト

ダラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ其目的ヲ達スル上ニ付テハ、自ラ順序ガ

アリ又秩序ト云フモノモアッテ、サウ俄ニ其一方ノミニ偏重スルト云フコトハドウデアラウカト云フ考ヲ以テ居ルノデアリマス、

デ申ス迄モナク本案ノ最モ骨子ト致ス所ハアリマスガ、此發行シタル證券ヲ讓渡スル

證券ヲ發行スルト云フコトハ無論ノコトデニ當^シテ只一遍ノ裏書ヲ以テ爲スト云フコトガ骨子ノヤウデアリマス、是ハ我が國ノ民法ニ於キマシテ、此物件ノ異動トカ得喪トカ云フコトニ對スル一大原則ニ反スル譯デアリマス、即チ一大原則ハ一大例外ト見ナケレバナラナイコトニナルノデアリマス、

裏書ヲ以テ證券ヲ自由自在ニ轉々流通スルト云フコトハ、即チ物件デアル所ノ抵當權ヲ登記ヲセズシテ只一裏書ノミニ依テヤル

ト云フノデアリマスルカラ、物件ニ對スル得喪ハ凡テ登記ニ據ラザレバ其效ナシト云

ト云フノ原则ニ戻ルコトハ既ニ明カナノデ

ト云フコトモチットモ分ラナイト云フ

云フコトハ、即チ物件デアル所ノ抵當權ヲセラレルトシマスト、其轉々先ハ何人デア

ルカト云フコトモチットモ分ラナイト云フ

コトニナルト、不都合、困ルコトハ此不動產

テ發行セラレタ所ノ後ノ其不動產ニ對シテ

アリマス、併シ又ソレガ一方カラ申セバ金融ヲ……不動產ノ金融ヲ圓滑ナラシムル唯

付テ物件上ノ關係ヲ有シテ居ルモノガ隨分

ガラデス、必ズシモ此金融、不動產上ノ金融ヲ圓滑ナラシムルニハ、裏書ノミニ依^シテ

トハ書イテアリマスガ、此點ニ付テハ私共

讓渡ヲシナケレバ其目的ヲ達スルコトガ出

來ナイト云フコトハ、是ハ一概ニハ言ハレ

マイト思ヒマス、デ凡テノ點ニ於テ登記ニ

依ルト云フコトハ或ハ繁雜ナルコトモアリ

マセウシ、或ハ證券ヲ發行スル所ノ目的ニ

最モ大切ナル所ノ妨^シ生ズルカモ知レマセスケレドモ、若シ此裏書ノミニ依テ物件

ヲ轉々スルコトガ出來ルト云フコトニナル

ト云フト、第一不動產、即チ文字ノ示ス如ク勤カスコトノ出來ナイ所ノモノニ對シテ

非常ニ輕ミシイヤウナ氣持^シ生ズルノデス、

ソレカラ又第二ニハ其不動產ニ對シテハ色

ノコトモアルシ、地上權ノコトモアルシ、

賃借權ノコトモアリマス、其他種ミノ權利

ガ行使セラレルノデアリマス、所ガ其中ノ

或ル物件ノ移轉ニ付テ只一遍ノ裏書^シト

迷^シヲ受ケルコトガアラウト思フ、ソレデ
私ノ考ヘデハ裏書^シトモノ授受ニ依テ不動產
ヲ以テ讓リ渡シヲ爲スト云フコトニシタラ
ドウデアラウカト云フ考ヘヲ持^シテ居ルノ
デアリマス、併シ斯ウ申シマスト云フト、
サウ云フコトニスレバ證券ヲ發行スル必要
ノ融通ヲ圖ルノデアルカラシテ、若シ一々
ノ融通ヲ圖ルノデアルカラシテ來タナ
ソレヲ登記スルト云フコトモ言ハレルノデアリマセウ、
ソレヲ登記スルト云フコトモ言ハレルノデアリマセウ、
ラバ、ソレハ證券ヲ發行スルノ效力ガナ^シ、
斯ウ云フコトモ言ハレルノデアリマセウ、
併ナガラソレハ程度論デ、只裏書一遍^シテ授
受ガ出來ルノハソレハ敏活^シテアリマセウ、
登記ハ迅速ニ出來ルノデアリマセウガ、
併シ登記ヲシタカラト言^シテ必ズシモ其流
通ガ出來ヌト云フコトハナイ譯デ、是ハ多
少ノ手數ヲ要スル、多少ノ遲レ^シ取ルト云
フヤウナコトハアリマセウケレドモ、證券
ノ效能ト云フモノハ全クナクナルト云フコ
トハドウデアラウカト思ヒマス、ソレカラ
モウ^シ其裏書ノミニ依テ授受セラレルコ
トニナルト、不都合、困ルコトハ此不動產
云フモノガ殆ド株券カ債券カ、又證券ノ如ク
轉々シテ如何ニモ不動產ニ對スル愛著トカ、
或ハ執著トカ謂フ所ノ即チ不動產ニ依^シテ

安心ヲ得ルト云フコトニ、即チ安心カト云フモノガ殆ドナクナリハシナイカト思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ不動産ハ殆ド一遍ノ證券債券ヲ持ッテ居ルヤウナ感ジヲ與ヘルヤウニナリハシナイカト思フ、ソレハ私ハドウモ甚ダ喜ブコトデハアルマイト思フ、此人ミハ此世ニ居テ最モ樂シムベキコト、最モ喜ブベキコトハ何カト云フト、即チ生活ノ安定ト云フコトデアラウト思フ、如何ニ財產ヲ持ッテ居リマシテモ、其財產ノ價值ト云フモノガ常ニ變動シテ一刻モ安心スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタナラバ、生活ト云フモノハ決シテ安樂ニ安定スルモノデハナイト思フノデアリマス、ソコデ不動產ト云フモノハナカナカ容易ニ轉々セラレルモノデハナシ、容易ニ手渡シスルモノデモナイ、又容易ニ人カラ奪ハレルモノデハナイト云フコトデアッテコソ、始メテ不動產ニ對スル心理ト言ヒマセウカ、心持ト言ヒマセウカ、安定スルコトガ出來ル、ソレハ利益ノ點カラ言ヒマシタナラバ、債券トカ或ハ株式トカ云フモノヲ有ッテ居リマシタナラバ、ソレハ或ハ意外ナ利益ヲ得ルコトモアリマセウガ、其利益ヲ得ルコトガ多イデアリマセウガ、其代リ又非常ニ損ラスルヤウナコトガアル、

デアルカラ、生活ノ安定ヲ圖ルニハドウシテモ價格ノ不動ト云フコト、變動ト云フコトガ極メテ少ク、少イト申シマシテハ或ハサヌト云フモノニ賴テコソ、初メテ生活ノ安定ト云フモノガ出來ルノダラウト思フ、所ガ此裏書ニ依ッテ不動產ノ轉々セラレルト云フコトニナリマスト云フト、此裏書人ニ、所持人ガ裏書人ニ對スル償還ノ義務ヲ負ハシムル爲ニハ、ドウシテモ其不動產ト云フモノヲ辨濟ヲ受ケナカッタ時ニハ成ルタケ早ク拂ハナケレバナラヌト云フコトニナル、本法ニ規定ガアリマス通り抵當權、抵當證權所持者ガ辨濟期ニ當ッテ支拂ヲ要求ケナカッタ時ニハ其一ヶ月内ニ支拂ヲ要求シヤウト云フコトニナッテ居ル、ソレカラ一ヶ月過ギテ尙ホ支拂ハナカッタ時ニハ、辨濟ノ間ニ借替ラシテ、直グニ埒ヲ付ケルト云フコトハ餘リ容易ナコトデアルマイト思フ、借替ラスルニ付テハ金主ヲ見付ケナケレバナラヌ、見付ケタ所ガ金主ガ不動產ノマセヌガ、恐ラク此不動產ヲ抵當ニシテ金ヲ借リタモノガ、期限到来一ヶ月ヤ二ヶ月ノ間ニ借替ラシテ、直グニ埒ヲ付ケルト云フコトハ餘リ容易ナコトデアルマイト思フ、御方カラ承ハリマシタラ不動產競賣ト云フモノハ勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行ノ三銀行ノ貸金ニ付シテ僅カニ百分ノ一ト云フ話デアリマス、司法省ノ御方カラ承ハリマシタラ百件ノ中ニ二件、如何ニモ少イ、斯ノ如ク統計上競賣ノ場合ト云フモノハ少イカラ畢竟債務者ニ於テ不動產ノ愛著ノ念ガ多クシテ、成ルタケ手放サヌト云フ考カラ著モ思ハシキ金主モナイ、ドウモ借替ラシテ普通ナラバイロ／＼工面スルケレドモドウアッテ、サウ急ニハ借替ノコトヲ實行スルコトハ出來ナイト思フ、ソレデアルカラマアアリマスカラ此場合ニ於テ債務者ガ或ハ借替ヲスルトカ或ハ他ニ金融シテ戻スト云フ

コトデ、サウ一ヶ月ヤソコラデ急ニ埒ノ開クモノデアリマセヌカラシテ、少クトモニアリマス通り特別ノ事情ノアル時トアリマスガ、特別ノ事情ト云フノハ所謂特別デアッテ、只債務者ガ借替ラシタイ、所ガ借替先ハマダ見付カラヌカラ、其中ニ見付カルカラ、ドウカ暫ラク延バシテ吳レト云フコトハ特別ナ事情ニ決シテナラナイト思フ、サウスルト多クノ場合ニ於テハモウ其抵當證云フ結果ニナルノデアリマス、私共實際斯ウ云フ取引關係ニ付テハ相當經驗ヲ持チマセマセウカ、恐ラク此不動產ヲ抵當ニシテ金ヲ借リタモノガ、期限到来一ヶ月ヤ二ヶ月ノ間ニ借替ラシテ、直グニ埒ヲ付ケルト云フコトハ餘リ容易ナコトデアルマイト思フ、御方カラ承ハリマシタラ不動產競賣ト云フモノハ勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行ノ三銀行ノ貸金ニ付シテ僅カニ百分ノ一ト云フ話デアリマス、司法省ノ御方カラ承ハリマシタラ百件ノ中ニ二件、如何ニモ少イ、斯ノ如ク統計上競賣ノ場合ト云フモノハ少イカラ畢竟債務者ニ於テ不動產ノ愛著ノ念ガ多クシテ、成ルタケ手放サヌト云フ考カラ著モ思ハシキ金主モナイ、ドウモ借替ラシテ普通ナラバイロ／＼工面スルケレドモドウアッタナラバ、是マデノ實驗ニ依ッテ普通ノ工面ヲシテ辨濟スルガ爲デアラウ、デアルカラ、縱令證券發行ノ後ニ於テモ三ヶ月間アッタナラバ、是マデノ實驗ニ依ッテ普通ノ場合ト同様ニ、競賣ニ致サズトモ著々辨濟ヲスルデアラウカラ、ソレ程心配ニナルマ

イト云フ考モ起ルカモ知レマセヌガ、ソレハ全ク違ウ、ト云フノハ是マデデア、テ見ルト云フト、別ニ法律ニ於テモ又習慣ニ於テモ辨濟期到來シタ三ヶ月トカ、二ヶ月間ニハ必ズ競賣シナケレバナラヌト云フコトハナイ、デアルカラ、債務者ノ事情又其時ノ場合或ハ又貸金ノ金利トカ云フヤウナコトニ付テ、容易ニ債權者ニ於テ債務者ノ申出ヲ入レテ競賣、不動產ヲ競賣スルヤウナ場合ニ立至ラナイコトガ多イダラウト思フ、ソレハ債務者ノ自由デアリマスカラシテ、デアルノミナラズ時トシテハ債權者ノ利益ニナルヤウナ場合モ幾ラモアラウト思ヒマスカラ、ソレデ、今日マデノ統計デヘ、此銀行ニ於テモ亦裁判所ノ調べニ於テモ、此不動產登記ト云フモノハ比較的少イ原因デアラウト思フケレドモ、此證券ニ對シテハドウシテモ三ヶ月内ニシナケレバナラヌサウデ、ソノ結果ニナルノハドウカト云フノニ、一遍ノ裏書ヲ以テ證券ヲ轉々スルカラサウ云フコトニナルノデ、何故ナラバ若シ早ク辨濟ヲ受ケテ不動產ノ競賣ヲシナケレバ、前裏書人ニ對シテ償還セラル、カラ、其裏書人ガ非常ナ迷惑ヲスルト云フコトカラ、競賣ノ期間ト云フモノヲ極ク短カクシタモノデアラウト思フ、サウスレバ不動產

ヲ容易ニ手離サナケレバナラヌ、從々テ不動產ニ致シテ殆ド普通ノ債權若クハ株券ト同ジヤウナ考ヲ持ツヤウニ至ルト云フコトハ、全ク此裏書轉々ト云フコトノ結果デアラウト思フ、若シ裏書ヲセズニ唯登記ニ依シテ轉モノガアリマセヌカラ、償還ヲ求ムルト云フ先ガナクナル、ナクナルカラシテ、今日手形所持人ノ自由デ、或ハ延バシテモ宜シイト思ヘバ延バシ、又賣ラナケレバナラヌト思ヘバ賣ルコトモアラウ、ソレハ債權者ノ自由ナンデス、ソレデアルカラ恐ラク證券ヲ發行セラレテ、唯其讓渡ハ抵當登記ニ依ラザレバ出來スト云フコトニナリマシテモ、決シテ今マデノ統計デ示スヤウナ百分ノ一厘トカ、百件ノ一件ト云フヤウナコトニ行キマスマイケレドモ、大シタコトモ變動ハアリマスマイカト私ハ考ヘテ居ル者デアリマス、ソコデモウツハ此登記ガ日本ノ登記ニ於テハ公信力ト云フモノガナイ、公示主義デアツテ、公信力ガナイ、成程或場合ニ入レテ金ヲ借りタ、登記上デハ立派ニ所有者カラ抵當ニ取ッタト云フコトガ書イテアルケレドモ、實際ヲ見ルト云フト、其不動

造シテ好イ加減ナ登記ヲシタト云フコトガ
分ル、サウ云フ場合ニハ登記ハ無効ト言ハ
公信力ガアルト云フコトニスレバ、サウ云
フ間違ノ場合デモ登記ニ記載シテアルコト
ヲ事實ト見テ、ソレガ爲ニ其登記ヲシタ者
ニ損害、迷惑ヲ與ヘルコトガナイト云フヤウ
ナコトデアレバ、或ハ日本ノ此證券ノ譲渡ニ
付テモ登記ニ依ッテヤッテ或ハ差支ナイカモ
知レヌ、サモナケレバドウモ登記ニ依ッテ譲
渡ヲシタ所ガ、ソレ程ノ效能ガナイト云フヤ
ウナコトモアルカモ知レマセヌケレドモ、
私ハ日本ノ登記法ガ公信主義トカ、或ハ又
公示主義ト云フ、其主義トシテ見ルノハ、
其效能ノ如何ニ依ッテ見ル人ガサウ云フコ
トヲ言フノデアッテ、日本ノ登記ハ必ズシモ
公信力ト云フモノハナイト云フコトハ一概
ニ言ハレナイト思ヒマス、成程登記法ニ反
シタ場合ニハ、例ヘバ登記シナケレバナラ
ヌモノヲ登記セズニ置イタトキニハ、其權
利者ト云フ者ハ第三者ニ對シテハ對抗スル
コトガ出來ナイ、即チ登記シタ者ニ對シテ
ハ、登記ヲスベカリシ者ガシナカッタトキニ
ハ其權利ヲ主張スルコトガ出來ヌト云フコ
トガ、ソレハアリマスケレドモ、ソレハ多

少ノ物權得喪ノコトニ付テ或制度ヲバ改正ヲ致シタラバ、公信力ガナイカラシテ信用ハ出來ナイト云フヤウナ弊害ハ幾分カ救ハレヤシナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレナラバ證券譲渡ノ方法ハ一片ノ裏書デ以テ譲渡スコトガ出來ナイ、登記ニ依ラナケレバナラヌト云フコトナラバ、ソレダケノ點ヲ修正スレバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトガアルカモ知レマセヌガ、併シナガラ若シ此譲渡ノ方法ガ變ルナラバ、總テノ點ニ於テ本法ノ規定ヲドウニカ手ヲ入レナケレバナラヌト思ヒマスカラシテ、修正案モ出來ナイノデアリマス、ソレナラバ抵當債券發行ニ付テハ至極結構デアルト云フ以上ハ、假令其裏書譲渡ガ氣ニ入ラヌト言フタ所ガ、此案ニ對シテ不贊成ト云フコトニナルノハ甚ダオカシナコトデハナイカト云フコトニモナリマスガ、併ナガラドウモ今ノ根本的ノ譲渡ノコトニ付テ意見ガ相違ヲ致シマスト云フト、ドウモ到底其一ケ條ノ修正ヲ以テ本案ヲドウシヤウト云フコトハ出來マセヌ、ノミナラズ、此會期モ極ク迫テ居リマス時デアリマスシ、サウ云フコトヲ躊躇イタス者デアリマス、然ラバ此コトヲシテ甚ダ面白カラヌト思ヒマスルノ

六十二億圓ノ不動産ニ對シテノ固定シテ居所ノ資本ト云フモノハ殆ド固定シテシマッテ、今日ノ經濟及金融界ノ逼息ト云フモノヲドウシテモ救濟スルコトガ出來ナイデヤナイカ、ソレヲドウシテモ救濟スル爲ニハシナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ジテ居ル以上ハ、何カ他ニ方法ガアリサウナモノデヤナイカト云フコトデアリマスガ、ソレハ私ノ考ヘデハ、今度農工銀行、ソレカラ勸業銀行ノ條例ヲ改正セラレマスル中ニ、是マデハ抵當權ノ債權ト云フモノニハ一切手ヲ觸レラレナイ、今度ノ改正ニ依ッテ抵當債權モ質ニ取ルト云フコトニナッタノデス、勿論抵當債權證書モ取ル、抵當證券モ質ニ取ラレルノデス、ソコデ質入レト云フコトデス、是ハ極メテ結構ナコトグラウト思フ、又之ヲ爲スニ付テハ民法ニ觸レタ所ノ制度ヲ作ルトカ、或ハ又斯ウ云フ面倒ナ三十條モアルヤウナ法規ヲ作ル必要ハナイ、唯農工銀行ノ條例ヲ改正スレバソレデ宜イ、サウシテ其效果ハドウカト云ヘバ、ソレハ證券ヲ發行スル程ノ金融ノ圓滿ヲ圖ルコトハ出來マスマイケレドモ、是マデニ比ベテ見タラドレ程ノ固定資本ガ融通ガツクカソレハ分ラナイト、思フ、ソレデ提案者……提案者ト言ヘバオカシイデスガ、

衆議院ニ於テ、本案ヲ提出サレマシタ所ノ大藏大臣ニ於カレマシテ御演説モアリマシタガ、其中ニ或委員カラ、此證券法ト云フモノハ不動産ノ固定ヲ資本化シテ、不動産上ニ於ケル金融ヲ圓満ニスルト云フ考ヘカラ出シタモノデアル、斯ウ云フ御答ガアッタ、所ガ或議員カラソレナラバ第一番ニ此不動産ノ抵當ニ付テハ農村ヲ先ニスレバ宜イデハアリマセヌカ、ソレヲ後ニシテ置イテサウシテ市街ヲ先ニスルト云フコトハ御趣意ニハチット副ハナイヂヤナイカ、斯ウ云フコトヲ尋不タ所ガ之ニ答ヘラレルニハ、ソレハ如何ニモサウダ、サウデアルガ併ナガラドウモ一時ニ之ヲヤルト云フコトニナルト云フト、其方ニ關係スル所ノ事務員即チ登記所等ニ於テ非常ニ訓練ヲ要スルト云フコトデ、サウ遽カニ施行シタナラバ法律ヲ施行スルノニ圓滿ナル結果ヲ見ルコトガ出來ナイト思フカラ、先ツ假リニ市街地ヲ先ニシテサウシテ十分其訓練ヲシ、且ツ果シテ此證券法ガ實際ニ旨ク弊害ナク施行セラル、ヤ否ヤト云フコトヨク考ヘタ上デ農村ノ地方ノ方ヘモ施行スル考ヘデアル、デ大臣ノ答ヘラレマシタ所ノ趣意ハ第壹ハ事務員ノ訓練ガ行屆カナイ、第二ハ證券ヲ發行シタ上實際之ヲ運用スル上ニ

テ、果シテ良結果ヲ得ルカ否ヤト云フコトヲ考ヘタイ、斯ウ云フニツノ理由ヲ以テ答ヘラレタヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、デアルカラ當局ニ於カレマシテモ、此證券發行ト云フコトハ不動産金融上誠ニ結構デアルガ、扱テ之ヲ行々タ上デ何カ弊害ガ起リハシナイカ、何カ障碍ガ起リハシナイカト云フヤウナ御考ヲ多少持ッテオ出デナサルコトデアラウト私ハ思フ、一面ニサウ云フ案ジガアル、多少ノ危險、多少ノ心配ガアルヤウナコトニ付テハ餘程研究シタ上デナサル方ガ宜クハアルマイカ、其代リニ容易ニ又安全ニ行ハレテ、サウシテ金融ヲ圓満ニスル上ニ於テ、尠カラザル所ノ效果ノアル所ノ債權質入ト云フコトヲ先ヅ以テ御許シニナック方ガ、私共ハ極メテ順序ノ宜イコトデアラウト考ヘルノデアリマス、尤モ此勸業銀行其他ノ銀行ノ條例ヲ改正セラレマスニ當リマシテハ、唯質入……是迄此質取ヲスルコトガ出來ナイノヲ、質取ヲスルコトガ出來ルト云フダケノ文句サヘ入レタラ宜イノデスカラ極簡單デアリマス、サウシテ又文句ガ其中ニアリマシタガ、是ハ債券法ガ實施サレナイト云フ債券ト云フモノハ……若シ出來ルコトナラバ債券迄モ含ムト云フ抵當證券ト云フモノハナクナルカラシテ、

ドウシテモ其質入ト云フコトヲ許スト云フ
コトニナルト云フト唯ソレバカリデハイケレ
ナイ、債券ヲ含ムト云フコトヲ削ラナケレ
バナラヌト云フ議論ガ起ルカモ知レマセヌ、
サウスルト云フト衆議院ニ於テハ債券ヲ含
ンダ所ノ改正條例ヲ可決シタノデアリマス
ルカラシテ、若シ質入バカリヲ許スト云フ
コトニナルト云フト、衆議院ノ議決ニ背ク
ヤウナコトニナリマスケレドモ、ソレハド
ウデアリマセウ、現在債券ヲ……抵當證券
ヲ發行シテ居リマセヌカラシテ其文句ガ
アツハ蛇足ノミナラズ聊カ不穏當デアリ
マスガ、併ナガラ他日證券ヲ發行スルト云
フコトノ確信ガアツタナラバ其儘ニシテ置
イテモ私ハ宜カラウカ知ラヌト思フ、サウ
スレバ勸業銀行其他ノ條例改正ヲバ其儘ニ
可決シタナラバ、質入ト云フ行爲ト云フモ
ノハ立派ニ出來得ルコトダラウト信ズルノ
デアリマス、是ダケ……

田子爵ノ希望決議ガ二件ゴザイマシタ、是ハ委員會ノ希望決議トシテ委員長カラ本會議ニ報告イタシマスコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵伊東祐弘君) 御異議ナイモノ認ヌマス、如何イタンマセウ、無盡業法ノ説明ダケチヨット……

○政府委員(小川郷太郎君) 無盡業法改正法律案ノ提出理由ニ付キマシテ、大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、無盡ハ最モ古イ沿革ヲ有スル我國固有ノ金融方法デアリマシテ、早クヨリ津々浦々マデ行ハレ、長イ間中小産業者ノ産業及經濟ノ發達ニ多大ノ貢獻ヲ爲シ來タモノデアリマス、現行無盡業法ハ大正四年ニ初メテ制定セラレタモノデアリマシテ、爾來無盡業者ノ適從スペキ基準デアルト共ニ、其監督ノ規定トシテ今日マデ斯業ノ發展ニ多大ノ貢獻ヲ爲シ來タモノデアリマス、即チ業法施行ノ翌年デアリマス大正五年末當時ト、昭和四年末現在トヲ比較シテ見マスルト、無盡業者ノ數ハ百三十六ヨリ二百六十トナリマシテ、其間公稱資本金ハ七百四十餘万圓ヨリ三千四百餘万圓トナリ、給附契約高ニ於キマシテ四千万圓ヨリ十億八千万圓ト云フ非常ナ躍進ヲ示

シテ居リマシテ、實ニ二十五倍ニ上ツテ居ルノデアリマス、而シテ全國無盡業者ガ一年間ニ給付融通イタシマスル金額ハ最近約二億圓ニ及ンデ居ルノデアリマス、此數字ニ依リマシテモ如何ニ無盡業者ナルモノガ、中産業者ノ金融ニ貢獻シツ、アルカノ一班ヲ窺フニ足ルト思ハレルノデアリマス、併ナガラ其後時勢ノ進運ニ連レ、現行法ノ規定ヲ以テシテハ庶民金融機關トシテノ活動ニ稍、不便ヲ感ゼラレル點ノアリマスコトト、又一面數多キ無盡業者ノ中ニハ今尙ホ其經營ヲ誤リ破綻ヲ曝露イタシマシテ、多數ノ加入者ニ對シ不測ノ損害ヲ蒙ラシメ、延イテハ斯業ニ對スル一般ノ社會的信用ヲ損フモノガ往々ニシテアルノデアリマス、政府ハ無盡業法施行以來ノ實績ニ鑑ミマシテ、斯業ヲシテ益、其庶民金融機關タル機能ヲ發揮セシムルガ爲メ及無盡業者ノ基礎ノ健實ニスルコトニ依リ一般社會的信用ノ向上ヲ期スルガ爲ニ、今回ノ改正法律案ヲ提出スルニ至ツタノデアリマス、今其主ナル事項ニ付テ申上ゲマスレバ、無盡ハ營業トシテ之ヲ爲ス時ハ之ヲ商行爲トスルト云フ旨ノ規定ヲ設ケマシタ、又無盡業ノ主體ヲベ株式會社ニ制限イタシ、且ツ無盡業者ノ認メタル事項、例ヘバ無盡會社ノ出張所、

其投資シ得ル有價證券中ニ産業組合中央金庫ノ發行イタシマス産業債券ヲモ新タニ之ヲ認メ、且ツ掛金者ニ對スル貸付金ノ中デコトトシタノデアリマス、更ニ自己ノ經營スル無盡ニ加入スルコトヲ得ザルモノノ中度トスル貸付ハ、之ヲ無制限ニ爲シ得ルコトトシタノデアリマス、更ニ自己ノ經營ナガラ其後時勢ノ進運ニ連レ、現行法ノ規定ヲ以テシテハ庶民金融機關トシテノ活動ニ稍、不便ヲ感ゼラレル點ノアリマスコトト、又一面數多キ無盡業者ノ中ニハ今尙ホ其經營ヲ誤リ破綻ヲ曝露イタシマシテ、多數ノ加入者ニ對シ不測ノ損害ヲ蒙ラシメ、延イテハ斯業ニ對スル一般ノ社會的信用ヲ損フモノガ往々ニシテアルノデアリマス、政府ハ無盡業法施行以來ノ實績ニ鑑ミマシテ、斯業ヲシテ益、其庶民金融機關タル機能ヲ發揮セシムルガ爲メ及無盡業者ノ基礎ノ健實ニスルコトニ依リ一般社會的信用ノ向上ヲ期スルガ爲ニ、今回ノ改正法律案ヲ提出スルニ至ツタノデアリマス、今其主ナル事項ニ付テ申上ゲマスレバ、無盡ハ營業トシテ之ヲ爲ス時ハ之ヲ商行爲トスルト云フ旨ノ規定ヲ設ケマシタ、又無盡業ノ主體ヲベ株式會社ニ制限イタシ、且ツ無盡業者ノ認メタル事項、例ヘバ無盡會社ノ出張所、

及信託業法等ニ規定サレタル事項ニシテ、掛金者ノ利益ヲ保護スルニ遺憾ナキヲ期シト、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵伊東祐弘君) 如何デアリマセウカ、今日ハ此程度ニ致シテ置キマシテ、次ハ明日デモ本會ガアレバ御質問ニ移ルコト、ソレデ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵伊東祐弘君) ソレデハ今日ハ是デ延會イタシマス

出席者左ノ如シ

委員長 子爵伊東 祐弘君
副委員長 松本 稔治君
委員

子爵前田 利定君

水上長次郎君

有吉 忠一君

男爵渡邊 修二君

菅原 通敬君

名取 忠愛君

政府委員

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏省銀行局長 大久保健次君

司法省民事局長 長島 育君

司法書記官 森田豊次郎君

昭和六年三月三十一日印刷

昭和六年三月三十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局